

姫路駅西エリア

商いのまち



戦後は八百屋や駄菓子屋、おもちゃ屋など、200以上の店舗が軒を連ね、卸売市場として栄えていました。

撮影：瀬川卯一氏

おはよう！

から始めませんか？

姫路駅西エリアでの活動に関心のある方はご連絡ください

問い合わせ先：姫路駅西地区まちづくり協議会

✉ himeji.ekinishi.area@gmail.com

発行元：姫路市

協力：姫路駅西地区まちづくり協議会／旧市のきさき朝市実行委員会

忍町自治会／久保町自治会／西駅前町自治会

神姫バス株式会社／株式会社山陽百貨店

株式会社銀ビルストア（ボンマルシェ）／姫路信用金庫

企画：株式会社リノベリング

編集：夕雲舎デザイン事務所



これまでも、これからもありつづけるまちで。



他のエリアにはない趣きや楽しい雰囲気を感じさせてくれる姫路駅西エリアの唯一無二の魅力を磨くことで、まちなかの新たな目的地として人々に選ばれるよう、令和2年からの4年間にリノベーションまちづくりを通じ実施した取り組みをまとめました。

こちらのコンセプトブックを目にした方がエリアに飛び込むきっかけになれるよう、エリアの皆さんのご協力のもと作成しましたが、エリア内では、現在、姫路駅西地区まちづくり協議会やプレイヤーの皆さんが様々な取組みを展開されるなど、まさに転換期を迎えようとしています。

コンセプトブックを通じて、姫路駅西エリアの楽しさやおもしろさを感じていただき、実際にまち歩きをお楽しみください。また、エリアの魅力に気がついた際には、ぜひ他の方にもお伝えください。小さなことですが、伝えることが大きなまちづくりの第一歩となります。

これまでの文化・気質・風景を大事にしながら、これからもありつづけるまちとして、引き続き皆さんと一緒にエリア価値向上に向けて取り組んでいきましょう。

令和6年3月

姫路市 産業振興課 中心市街地活性化推進室



Past

昔

姫路駅西エリアには、かつて姫路の台所を支えた市場街が広がっていました。現在も目利きの商人の店舗が点在します。また、エリアの南には姫路大博覧会(昭和41年開催)にあわせて開業した姫路モノレール(昭和54年廃止)の橋脚が点在するなど、ノスタルジックな雰囲気が漂います。



姫路駅西エリアって どんなところ?

姫路駅の西側の久保町・忍町・西駅前町を中心に広がるエリアです。かつての市場街の面影を残す「旧市エリア」が中心に位置します。

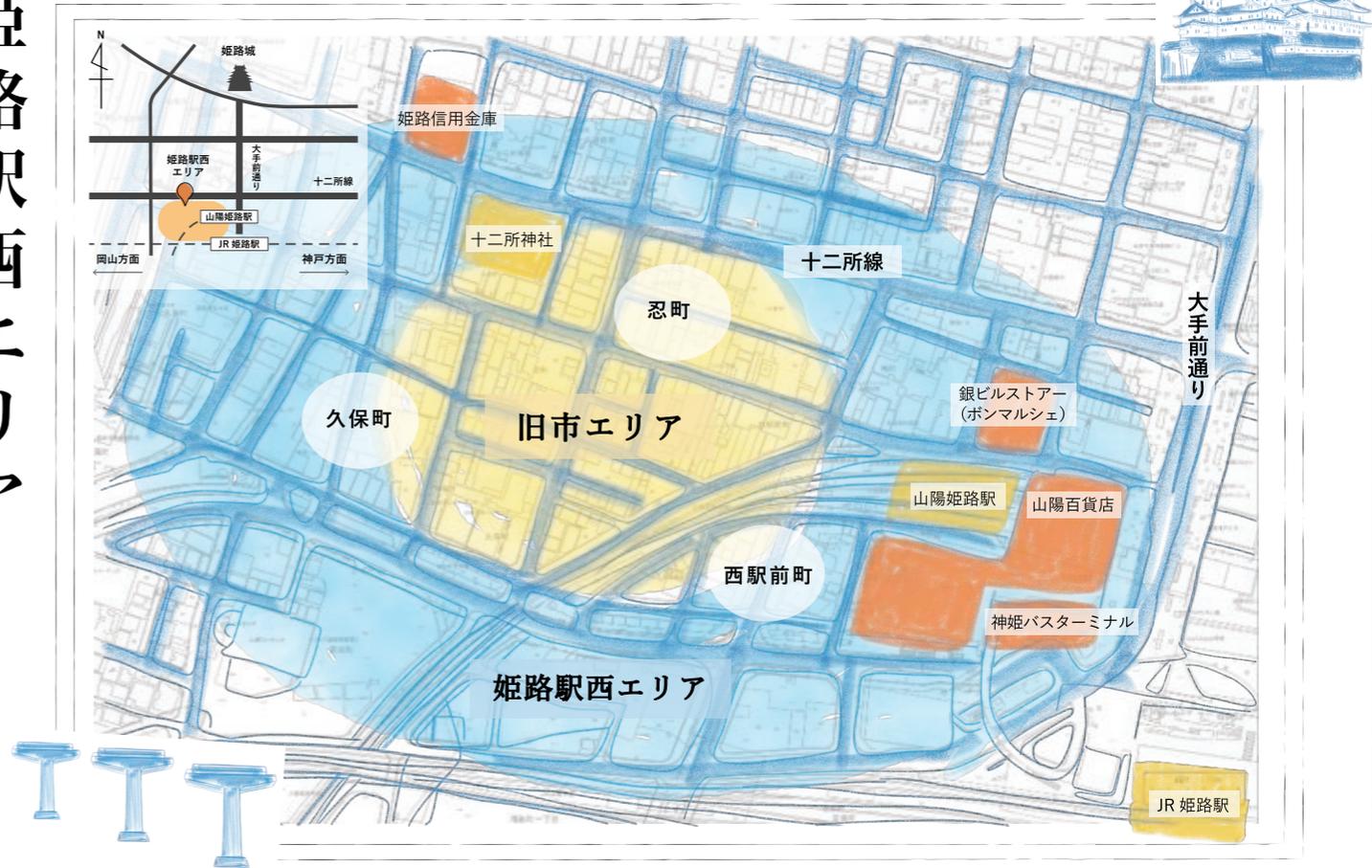
Himeji Ekinishi Area

Present

今

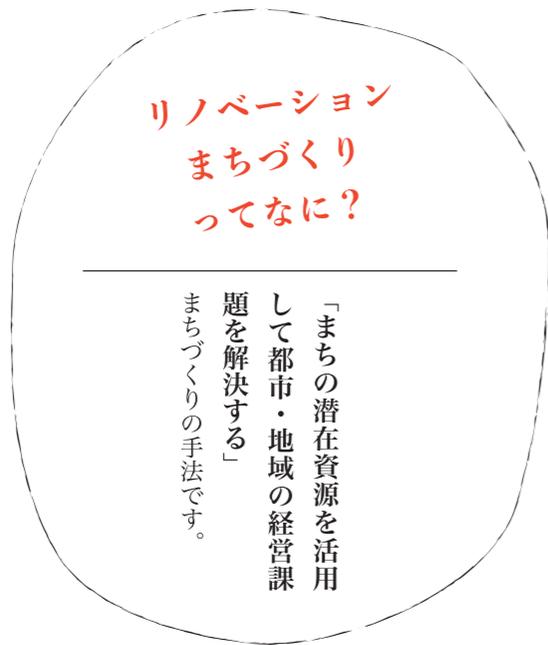
姫路駅前や大手前通りのほか、姫路イチの歓楽街である魚町・塩町エリアに隣接しており、姫路駅からも徒歩5分程度と、アクセスの良さを備えています。最近では、空き家や空き店舗等の遊休不動産を活用した小規模な店舗の出店が目立つ一方、民間投資によりホテルやマンションの建設も進んでいます。

姫路駅西エリア



いままでとは 180° 違った手法で

今ある空き家や空き店舗等を上手く使いながら、エリアの価値を高める小さなチャレンジを同時多発的に生み出すことによって、少しずつ民間主導でまちを変化させていきます。そこに関わる人のまちの見方もリノベーションされることで、今まで価値を見出せていなかったあらゆるまちの資源が再解釈・再編集されます。こうした取組みを地道に継続していくことでエリアの価値が上がり、エリアの再生につながります。



姫路駅西エリアでは、「リノベーションまちづくり」の手法を活用してまちづくりを進めています。



姫路駅西エリアで展開してきた“リノベーションまちづくり”

	R2	R3	R4	R5	R6
地域資源の発掘・事業化支援 空き店舗やプレイヤーの発掘	●	●			
	空き店舗調査	リノベーションスクールの開催			
地域課題の再考察 解決に向けた新たなアプローチ エリア価値を高めるアクション			●	●	●
			エリアビジョン・アクションプランの共有	これからを見据えたエリアビジョンの共有	
			●	●	
			アクションは事業者が企画、実施		
情報発信の強化 新旧の事業者はもちろんのこと エリアの住民や来街者にも波及				●	●
				シンポジウムの開催	コンセプトブックの作成

開催しました!

リノベーションスクール

第1回
2021
6/11~13



第2回
2022
1/28~30



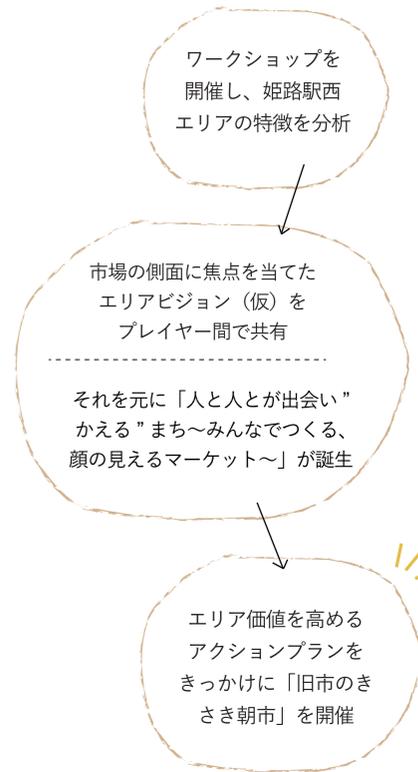
シンポジウム

2023
2/13



エリアビジョン・アクションプラン

Area vision・Action plan



地域資源の発掘



空き店舗調査の実施

リノベーションスクールで
空き店舗の活用方法を検討し
オーナーへ提案

リノベーションスクールを
きっかけに「蒲田商店(事業継承)」
「こどもの ASOBIBAひめじ基地」
が誕生

地域課題の再考察



リノベーションスクールの開催を
通じ集まったプレイヤー同士で、
エリアの歴史や文化を踏まえたエリア
ビジョンとアクションプランを描く

エリアビジョンをブラッシュアップ
することで、エリアに関わる全員で
実現したい将来像を目指す

エリアの価値向上を目指し、
事業者によるアクションを展開
(旧市のきさき朝市, 旧市ビルヂング)

情報発信の強化



令和4年2月に
「姫路が目指すウォークアブルな
まちなかシンポジウム」を開催し、
姫路駅西エリアでの取組みを紹介

令和6年3月に
「姫路駅西継承本
リノベーションまちづくり
コンセプトブック」を発行

すでに動き始めている 姫路駅西エリア



おいでよ!



姫路駅西地区 まちづくり協議会

姫路駅周辺の姿が変わる中、
姫路駅西エリアの活性化のため、
市場の組合や地域に関わる
事業者が発起し、平成17年
に設立しました。現在は、個
人商店や事業者を中心に、エ
リアの価値向上のために活動
しています。
多くの方にエリアの魅力を
知ってもらうこと、また、姫
路駅へお越しいただいた方に
エリアへ立ち寄ってもらいた
めに、イベントの実施や、姫
路市とともに「リノベーション
まちづくり」に取り組んでい



ます。令和6年3月には遊休
不動産オーナーと出店希望者
をつなぐ「旧市ビルヂング」
を企画・実施しました。
関係者の皆さんと描いたエ
リアビジョンをもとに、今後
もエリアの価値向上に努めま
す。

おはようのあるまち



旧市のきさき朝市は
毎月第3土曜日
9時～12時まで開催。



旧市のきさき朝市 実行委員会

戦後、卸売り市場として栄えてきた姫路駅西エリア。最盛期には二百以上の店舗が軒を連ね、多くの人が買い物に来ていたそうです。その後、少し離れたところに公営市場ができたものの、姫路駅西に残った店舗は多く、公営市場の方を『新市』と呼び、姫路駅西エリアは『旧市』と呼ばれるようになりました。

『市場』という特性上、店主たちの朝は早く、一番早い方は夜中の2時過ぎから営業を開始します。旧市は、店主同士毎朝挨拶を交わし、お互いに助け合

う、とても人情味溢れたあたかいまちです。

旧市のきさき朝市は、旧市の店主たちの時間に合わせて開催しています。普段通り軒先で営業している旧市の店主たちと、普段は別の場所で開催しているゲスト店主たちが、空いている軒先や駐車場を使ってまち全体でコラボレーション。旧市の店主たちと、ゲスト店主たち、そしてお客さんたちとの、新しいコミュニケーションが生まれています。

おはよう!



遊び、学び、気づき



こどものASOBIBA ひめじ基地

旧市場のまちなみが残る姫路駅西エリアで子どもたちのやりたい気持ちを育み、子どもたちとともに地域を「創造」「成長」していくことを目指しています。子どもたちの「遊び・学び・気づき」を通して、地域の人たちや子育て世代の交流を深め、地域の魅力を高めます。令和4年の活動開始以降、笑顔溢れるエリアとなる未来を描きながら、子どもたちが地域と関わるために企画・実施した取組みの一部を紹介します。

○ひめじ基地づくり
子どもたちが自分たちの手で自由にあそび場を創っていくワークショップ

○おつかい企画や探索ツアー
まちの人たちとの新たな出会いや触れ合い、新しいことに挑戦する気持ちを育む企画

○こどもアートフェスティバル
子どもたちが楽しみながらいろいろなものづくりや体験ができるイベント

姫路駅西エリアで新たな魅力の創造と子どもたちのために、あなたのやりたい気持ちを私たちがともに形にしましょう!

姫路駅西エリア ビジョンについて



うけつぐ

いとなみ
つづける

まじわる

こだわる

姫路駅西エリアは、60年以上つづいている市場のまち。
市場の歴史が育んだ『こだわり』と、互いに支え合う『まじわり』の文化。
その文化を大切に、『うけつぎ』育てていくことで、姫路駅西らしい
“いとなみ”をこれからもつづけていきたいと考えています。
今後も姫路駅西エリアの関係者が「いとなみ」を育てるうえで
大切にしていきたいことを考えていきます。

姫路駅西エリアでは、リノベーションまちづくりの取り組みを通して、協議会メンバーをはじめ地域のプレイヤーたちが協議し、この地域ならではの将来への指針(ビジョン)を描きました。

姫路駅西エリアの「いとなみ」を育てる 大切にしたい3つのキーワード

①こだわ・る【拘る】

元々市場だった特性上、姫路駅西エリアには強い拘りをもった店主がたくさんおり、「目利き」として信頼を得てきました。店舗がこだわりをもつことで、わざわざ足を運んでもらえるエリアに成長できることを目指します。



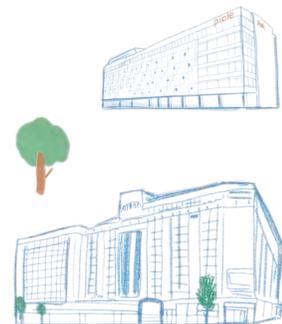
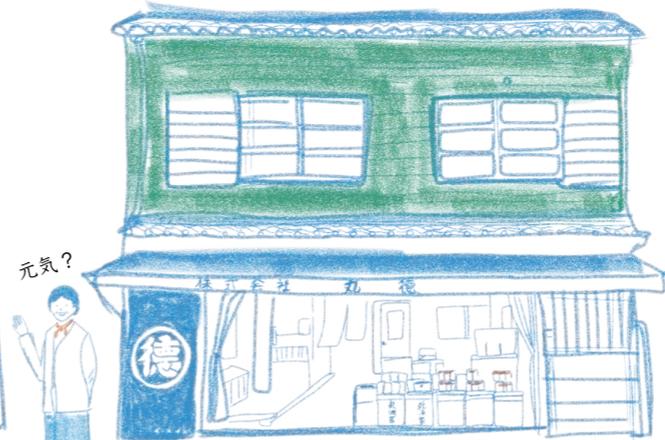
②まじわ・る【交わる】

店主同士が助け合う、ベテラン店主と新しい店主が支え合う、大人と子どもが仲良くなれる、仕事と暮らしの境が曖昧になる、店舗の内外が一体的に使われている、姫路駅西エリアにすでに存在するこれらのまじわりを大切にします。

③うけ-つ-ぐ【受(け)継ぐ】

店舗の拘り、そして店主同士のコミュニケーション。その日々の積み重ねによって支えられてきた小商いのまち、姫路駅西エリア。それらの良いところを受け継ぎながら少しずつ変化し、その魅力を繋ぎます。





元気かいな



ありがとうね



おはよう!

おはよう!



Hey! How are you?



おはようさん

またきてね!



はいどうぞ



あそぼ!

いとなみ
つづける

姫路駅西
旧市エリアのひとびと

岡部平和堂・店主



最近はどこでも会話せずに買い物ができる。ここでは、観光客の方にも会話を楽しみながら駅西の風情を感じてほしい。

まちが仲良いのはすごいところ。人も減りお年寄りが多くなり、その関係が徐々になくなるのは寂しい。若い人たちにもっと関わって欲しい。



今立商店・店主
今立さん

朝市の影響か、見かけない若い人たちが少しずつ来てくれるようになった。みんなに美味しい!と言われると、つい、やってやろうかなと思う。

末広ミート・店主
橋塚さん



ここは昔からお店同士、仲がいい。用もないのに話をしている居心地がいい場所。これがよい形で引き継がれながら変わっていくといい。

「何人分で」と言ってくれたら、自信を持ってお勧めできるものがある。目利きのまち。このエリアの魅力を残すには、若い人がどんどん入って、どないかせんとしょうがない。



ourhour・運営
TGさん

古き良きこのまちに関わる方を増やす!その窓口になれる場所、あわあわを運営しています。自分のこだわりを是非ご披露ください。

高田紙袋店・店主
高田さん



この辺の人はみんな知り合いで、まち全体で繋がりながら商売をしていた。年々人が減っていたが、これを機に、少しでも賑やかになるといいな。

土居青果店・店主
河邊さん



かBUる屋・店主
なかいさん

母の自転車の後ろに乗せられて通ってた幼い頃の「忍町のあの通り」。時間は経つもの、変化するのは当たり前。その中で昔から変わらない毎日を送ること。なにも特別じゃないけどそれを繰り返すってカッコいい、それに気付けた自分に会えた旧市。これからも私の中の「忍町のあの通り」。



赤松さん
tomaler・店主

まちの人と観光客の方とのちょこっとカオスなやりとりを見守るのが好きで、その光景をつくれるような導線をつくってみたいです。

ひめじ基地・運営
三木さん



子供たちにこの場所でしか味わえないまちの雰囲気や新たな発見、出会いをぜひ体験してもらいたいです。私たちも子供たちと一緒に学び楽しみながら活動していますので、皆さんひめじ基地でお待ちしております!



萩原さん
GREEN HANDS COFFEE・店主

最初はちょっと怖かったあの店主さんも、その店主さんも、今ではすっかり仲よし。我が子たちも旧市の店主さんたちが大好きで、笑顔で名前を呼び合います。いつも町の皆さんに見守ってもらい、感謝しています。



蒲田商店・店主
土田さん

世代が変わっていくのは仕方ないが、おじいちゃんたちの大事にしてきたものを守りながら次の世代にも来てもらえるようにやっていきたい。



西駅前町 玉田会長

やはり姫路駅西エリアは駅の東側と比べると開発の差を感じる。リノベーションまちづくりによって活気が出てきたように思うので、この流れが続いていくことを期待している。また住民の年齢層も高くなっており、町内会の活動も徐々に縮小している。若い人をサポートし、バトタッチできると良いと思う。

忍町 藤田会長

若い世代が入ってきたが、彼らは駅に近いという利便性の他に、ノスタルジックな雰囲気を魅力に感じてこのエリアを選んでくれているようだ。また、旧市のきさき朝市を通して、エリアを良くしたい！と思う人が数珠つなぎで参加してくれている。エリア価値向上に対する姿勢や感覚は若い世代の方が優れているように感じる。このエリアには小さなハコがたくさんあるので、若い世代が店舗し、お気に入りの店を回りながら、歩いて楽しいエリアになることを期待している。

久保町 酒澤会長

久保町は高齢化に伴い、撤退した店舗に飲食店が入ることが多い印象。マンションも多く、住民も一定数居る。その意味では現在もまだ小売が続いている忍町とは雰囲気が異なる。

駐車場はもう要らないと思う。まちは人が住んでこそ。店ができることで生まれるにぎわいもあれば、人が住むことで生まれるにぎわいもある。住と商がとけあう活気あるエリアになるとうれしい。

西村さんより駅西エリアへ

MESSAGE

建物はいずれ寿命がきて、建て替えが行われる。これは仕方のないことです。ただ、どう建て替わるかが大切で、これまでの土地の歴史や、そこで暮らしてきた人々の生き様が引き継がれてこそ、そのまちな希望になると思うのです。姫路駅西エリアは、「旧市」と呼ばれる元市場のまちです。早朝暗いうちから市が立ち、目利き店主たちがずらりと並ぶ活気は、まさに、他にはないここならではの価値。ただ、冷静にみれば、その唯一無二の価値はいま、生き残れるかどうかの瀬戸際です。だからこそ、古き良き「旧市」のよさを引き継ぎつつ、未来に向けて新しい価値とこれからの暮らしを創造しようと、未来の“目利き”たちが活動をはじめています。姫路のみなさん、新しいけどどこか懐かしい「旧市」に、是非足を運んでみてください。僕も心から応援しています。



アドバイザー
株式会社ワークヴィジョンズ
西村 浩さん